

はあむにゅ

No.28

2002年
9月

(有) 静岡健康企画	ことぶき薬局	TEL 0559 (77) 6024	FAX 0559 (77) 0890
	たまち薬局	054 (251) 1678	054 (251) 1685
	ひまわり薬局	053 (463) 4312	053 (460) 4612
	みかん薬局	053 (584) 2230	053 (584) 2240

7月26日 医療改悪法案 強行採決!

医療改悪の主な内容

患者負担増



サラリーマン、公務員、
退職した年金生活者と
その家族

2割→3割に引き上げ

(03年4月~)



一定以上の所得者
(単身世帯 = 年収380万円) 程度
(夫婦2人世帯 = 年収630万円) 以上

1割

2割

※定額制(通院1回につき850円、月3400円
まで負担)は廃止

(02年10月~)

保険料値上げ

●ボーナスからも月給と同じ割合で
保険料を天引きする **総報酬制** を導入

●政府管掌健康保険 **7.5%→8.2%**(年収ベース)
に引き上げ

(03年4月~)

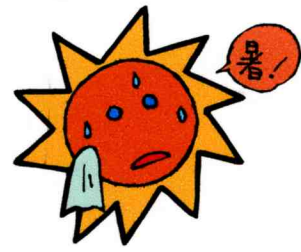
* 70歳以上の方は、今年10月から負担増が実施されます。

多くの診療所で実施されている1回850円(月4回まで)は廃止され、1割負担が徹底されます。一定以上の所得がある方は2割負担に跳ね上がります。また現在の通院の場合の月3200円(大病院5300円)までとなっている上限を廃止。これからは窓口でいったん1割(2割)負担を全額支払ったうえで、後から自己負担限度額を超えた分が払い戻される償還払いになります。

* 70歳未満の方は、来年4月から引き上げられます。

サラリーマン、公務員本人、会社や役所を定年した年金生活者(退職者医療制度)も3割負担に。さらに毎月の給料から支払う保険料も、来年4月から1人あたり平均で年3万円(労使折半)値上げされます。またボーナスからも月収と同じ割合で保険料を天引きする「総報酬制」が導入されます。

夏の肌対策



- **虫さされ**・・・蚊やブユ、蜂、ダニ、ノミなどに皮膚を刺されたために起こるもので痒みや痛み、腫れなどの症状が現れます。蜂の場合、何度か刺されるうちにアレルギー反応が強くなり、発熱や頭痛が現れたり、ひどい人ではショックで死亡する場合があります。

ケア： まず患部をよく洗いましょう。痒くても掻かないようにして、水道水でしぼったタオルなどを患部にあて、しっかり冷やすと痒みが和らぎます。

薬： 市販の痒み止めの薬で症状が治まらない場合や、症状がひどい場合は皮膚科を受診しましょう。

よく使われるお薬・・・外用ステロイド剤：痒み、腫れ、赤みなどを鎮めます

(ロイド、強力レスタシ、リンデロン、テルベートなど)

痒み止め 外用 (レスタシ、オラックス など)

内服 (ポラミン、キダミン、ペリアクチン など)

炎症を抑える薬 外用 (ステルム など)

重症の場合はステロイド剤を内服することもあります (プレドニゾロンなど)



- **日焼け**・・・紫外線には大きく分けてUVAとUVBがあります。UVAは肌を黒くし、皮膚の奥深くまで作用してシミ、ソバカスの原因になります。UVBは皮膚に炎症を起こし、赤くほてったり、水ぶくれを作ったり、皮膚癌の原因にもなります。

ケア： 帽子や日傘、日焼け止めクリームなどを利用し紫外線からお肌を守りましょう。

日焼けをして、赤かったり痛かったりしたら、患部を冷やします。ビタミンCやEを採ることも効果的です。

薬： よく使われるお薬・・・外用ステロイド剤

- **あせも**・・・汗をかいてそのままにしておいたり、汗の蒸発が遅れると、塩分などの汗の成分で皮膚表面が刺激されて皮膚炎を起こしたり、皮膚表面の汗の出口が詰まってしまうその部分がかぶれて、皮膚一面に赤い小さな発疹がたくさんでき、水ぶくれや強い痒みを伴ったりする場合があります。患部を汚れた手で掻いたりすると、化膿して湿疹になることもあります。

ケア： 通気性の良い木綿の下着を着用し、汗はこまめに拭き取りましょう。

また、清潔にすることが大事です。入浴は必ずしましょう。

薬： よく使われるお薬・・・外用ステロイド剤、外用抗炎症剤、亜鉛化単軟膏
外用抗生剤 など

※ 症状が似ていても、使うお薬は全く異なることがあります。目的に合わないお薬を使うことで、よけいに悪化させてしまう場合もありますので、皮膚科への受診をおすすめします。